

【小学校 ESD 総合的な学習の時間・社会科における事例】

平和公園と吉野ヶ里遺跡から考える平和学習（第6学年）

奈良市立済美南小学校 高橋 一博 中村 友弥

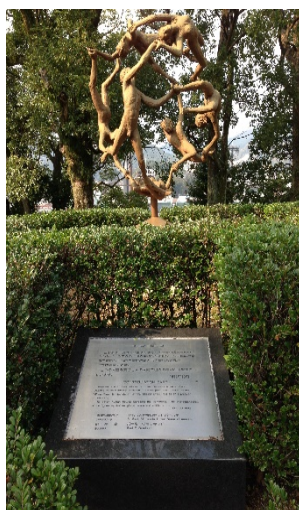
1. ESD を生かした授業づくり

（1）単元名 平和公園と吉野ヶ里遺跡から考える平和学習

（2）単元の概要

本単元は、長崎の平和公園と佐賀県の吉野ヶ里遺跡を題材としている。戦争の悲惨さ・原爆の恐ろしさを伝える平和公園と甕棺^{かめかん}のような亡くなった人への思いが感じられる吉野ヶ里遺跡を比べて学ぶことで、心に平和の砦を築くことができる児童の育成を図りたい。

平和公園について。原爆によってもたされた被害は、原爆資料館の資料などから感じることができる。公園内には平和公園を象徴する平和祈念像をはじめ、様々な像がある。それらの像の特徴として、海外から送られた像が多数あることである。亡くなられた人々へのご冥福を祈るとともに、長崎が原爆被害にあった最後の都市となるよう平和を願った像ばかりである。例えば、平和公園を象徴する平和祈念像。垂直に高く掲げた右手は原爆の脅威を、水平に伸ばした左手は平和を、横にした足は原爆投下直後の長崎市の静けさを、立てた足は救った命を表し、軽く閉じた目は原爆犠牲者の冥福を祈っている。このように像には平和に対する思いが込められている。



吉野ヶ里遺跡について。吉野ヶ里遺跡は弥生時代を象徴する遺跡である。弥生時代は稲作が栄え身分の違いが生まれた時代である。吉野ヶ里遺跡からは、高床式倉庫や祭り、市が開かれていた様子など豊かな文化があったことが伺える。この豊かさが争いの火種になり、日本最初の戦争が弥生時代に起きた。敵の侵入を防ぐため、縄文時代にはなかった逆茂木や乱杭などが作られ環壕集落が生まれた。



戦があったことは墓地からも伺える。葬られた人々の中には頭部がないもの、刀傷を受けた後があるものなど矢を打ち込まれているものなど戦争の犠牲者と思われる人骨が見つまっている。甕棺かめかんに入れられている供え物に多い少ないがあるなど階層によって葬られ方に違いはあるが、亡くなった人に対する当時の人々の思いを偲ぶことができる。

以上のように戦争から生まれる悲しみは今も昔も変わらない。社会科の歴史から学び、また総合的な学習の時間の中で平和公園について学ぶことで、争いを生む心ではなく平和を重んじる児童の育成を狙った。

(3) ESD の視点の明確化

【持続可能な社会づくりの構成概念】

構成概念Ⅳ 公平性…戦争がもたらす被害は、人権や生命が尊重されないということ。

構成概念Ⅵ 責任性…戦争の悲惨さを理解し、心に平和の砦を築くということ。

2. ESD の視点を生かした授業の実際

(1) 単元の目標【ESD の視点】

- ・平和公園と吉野ヶ里遺跡について意欲的に学習している。

【進んで参加する態度】

- ・平和公園と吉野ヶ里遺跡を比べ争いを生む心と平和を重んじる心について考えることができる。

【未来像を予測して計画を立てる力】

- ・平和公園と吉野ヶ里遺跡の戦争に関する共通点について情報を集めている。
- ・平和公園と吉野ヶ里遺跡の戦争に関する共通点を理解し、関連付けて考えることができる。

【多面的、総合的に考える力】

(2) 評価規準

関心・意欲・態度 【進んで参加する態度】	思考・判断・表現 【未来像を予測して計画を立てる力】	技能	知識・理解 【多面的、総合的に考える力】
・平和公園と吉野ヶ里遺跡について意欲的に学習している。	・平和公園と吉野ヶ里遺跡を結びつけて考えている。	・平和公園と吉野ヶ里遺跡の戦争に関する共通点について情報を集めている。	・平和公園と吉野ヶ里遺跡の戦争に関する共通点を理解している。

(3) 活動の計画

時	学習活動	○教師の支援 □評価
1	1. 像（平和祈念像）の写真を見て何のために作られたかを予想する。 2. 原爆投下直後の長崎の街の写真を見る。 3. これからの学習課題を示す。	○なぜ写真のような両手、両足のポーズになっているかクイズ形式で予想させる。 □像（平和祈念像）の写真を見て、何のために作られたかを予想しようとしている。  平和な社会の担い手になるために、戦争について考えよう。
2	1. めあてを確認する。 2. 吉野ヶ里遺跡の資料から当時の様子を読み取る。 	○スライドショーやパワーポイントで視覚的にわかりやすくする。 □吉野ヶ里遺跡の資料から当時の様子を読み取ろうとしている。  吉野ヶ里遺跡から戦争を考えよう。

3. カードを並び替え、戦争が始まるまでの過程を考える。  4. 戦争が始まった過程をまとめる。	○カード形式で考えやすくさせる。 □並び替えたカード   ○並び替えたカードを掲示する。
3 1. めあてを確認する。 2. 平和公園と吉野ヶ里遺跡を比べ、戦争に関する共通点を見つける。 3. 共通点をまとめる。	平和公園と吉野ヶ里遺跡を比べ、戦争に関する共通点を見つけよう。 ○比べやすい資料を示す。 ○個人で見つけにくい場合は、グループで見つける。 共通点 ① 豊かさを狙った侵略戦争。 ・稲作に向く豊かな土地争い（弥生時代） ・経済発展をねらった侵略（第二次世界大戦） ② 亡くなった人や平和への思い ・甕棺（吉野ヶ里遺跡） ・公園の像（平和公園）

戦争が起こる背景には様々なものがあり、宗教、思想、資源や土地の争いなどが複雑に絡み合っ
て今も続いている。平和な社会を作っていくためにはひとりひとりが、戦争が起こってきたその歴史
を学び、心に平和の砦を築くことができるかどうかにかかっている。

本教材では、時代は変われど、戦争のルーツや亡くなった人への思いは変わらないことに気付い
てほしい。繰り返してきた戦争を起こさないためには、戦争の背景に目を向け、根本的な原因を考
えることが大切である。